

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 都島区

学 校 名 中野小学校

学校長名 牧野美奈子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 67名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

〔国語〕話す・聞くことの領域は、全般によくできていた。また、書くことの領域は、大阪市平均・全国平均を上回っているが、平均正答率が30％に満たないので、これからも継続して書く活動に力を入れていく必要があると考える。情報の扱い方に関する事項では、情報と情報の関係を理解し関係づけができるように指導を続けていく。

〔算数〕各学年系統立てたノートの書き方と5段階の指導をどの学級も継続して行ってきたことや、習熟度別等少数指導を積極的に取り入れ、放課後の補習をしてきたので、数と計算や変化と関係では、その成果が見られる。図形領域でも、プログラミング学習を取り入れたり、小グループでの話し合い活動ができるだけ取り入れたりしてきたので、成果が大きく表れた。データの活用については、示された数から必要な数を読み取ったり、グラフから読み取ったことを言葉と数を用いて記述することができていないので、着目点を示して一人ひとりがしっかりふり返りをしていく必要がある。

## 分析から見えてきた成果・課題

## 教科に関する調査より

〔国語〕話す・聞くことの領域は、大阪市平均を8ポイント全国平均を4ポイント上回り、平均正答率も88パーセントと全般によくできていた。また、書くことの領域は、大阪市平均・全国平均を上回ったが、読むことが大阪市平均や全国平均を約4ポイント下回り、我が国の言語文化に関する事項も全国平均とは同じであったが、大阪市平均を少し下回る結果になった。

〔算数〕各学年系統立てたノートの書き方と5段階の指導をどの学級も継続して行ってきたことや、習熟度別少数指導を積極的に取り入れ、放課後の補習をしてきたので、数と計算や変化と関係では、その成果が見られる。図形領域でも、プログラミング学習を取り入れたり、小グループでの話し合いができており、成果が大きく表れた。変化と関係やデータの活用については、大阪市平均を少し上回っているが、全国平均より約1ポイント下回っている結果となった。

## 質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいですか」という項目が全国平均を下回り、自分に自信がもてず満たされていない気持ちをもっていると考え。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことと思う」という項目は大阪市・全国平均とほぼ同じ結果になったので昨年度からいじめについて考える月間など取り組んできた成果が出たのではないかと考える。「学校に行くのが楽しいですか」という項目が大阪市・全国平均より約10ポイント低くなったことは、原因等調査し、実態把握を進め、より学校が楽しいものになるよう努めていく必要がある。

学習活動において、話し合いにより自分の考えを深めたり、新しい考え方に気づいたりすることは目標としていた80％を下回った。しかし、学級会の話し合いで学校生活をよりよくしようとする児童は85％を超えており、自分たちで解決しようという自主的・主体的な態度が育ってきている。「理科の授業は好きですか」と答えている児童は大阪市平均を上回り全国平均とほぼ同じであるが、「外国語（英語）の勉強は好きですか」と答えている児童は、大阪市平均や全国平均より10ポイント以上、下回っている。平日、学校の授業時間以外に2時間以上勉強している児童が約30％で大阪市平均や全国平均を約5ポイント上回る結果となった。約80％の児童は、30分以上は学習しており自主学習が身についてきている。

学校質問紙では、各児童の様子を可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換することできている。教員が学級の問題を抱えている場合は、ともに解決にあたり、若手教員も安心して働ける職場づくりを進めている。

## 今後の取組(アクションプラン)

国語科の基礎・基本となる言語事項や読解力を高めるために今後も漢字学習の工夫や習熟度少数学習をより効果的に取り入れて学習を進めていく。書くことにも継続して力を入れ、いろいろな学習活動において振り返りを記述したり、自主学習を進めたりして自分の考えを順序立てて書けるようにしていく。また、少数で話し合う場面をどの単元でも取り入れ、友だちの意見をしっかり聞き、自分の考えを相手に伝えられる児童の育成に継続して努める。

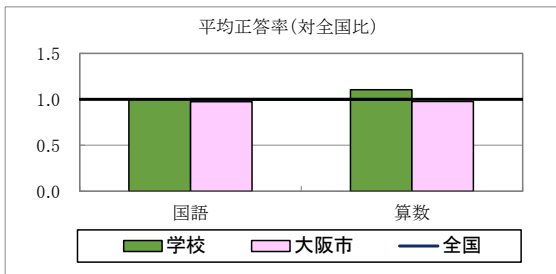
算数科は、引き続き習熟度別等少数指導を継続して進め、放課後の個別学習などで、反復練習を行っていく。様々な数値の変化関係やデータの活用の領域においては、ふり返りプリントやデジタルドリルなどを活用し、いろいろな問題に触れ、問題の解き方に慣れていく。学習活動においてICTの活用が週1回以上とまだまだ少ないので授業の中で毎日活用できるように各教領域の中でも機会を増やしていく。

今年度も研究教科を特別活動にし、話し合い活動が全教科領域で生かされるよう系統立てて取り組みを進める。また、児童会活動やクラブ活動の研究も進めているので、異学年での話し合いを生かし、より楽しく活動できるようにする。また、たてわり班活動でも積極的に行動できるようにし、低学年から憧れられる高学年児童を育て、「学校が楽しい」という児童が増やせるような取り組みを進めていく。

## 【 全体の概要 】

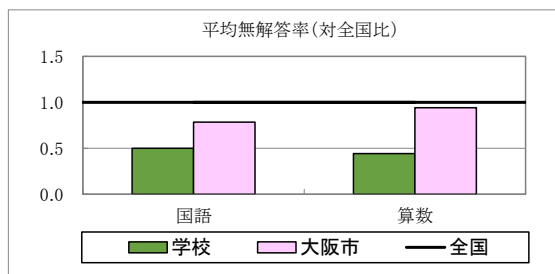
### 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	68	70
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



### 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.1	1.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



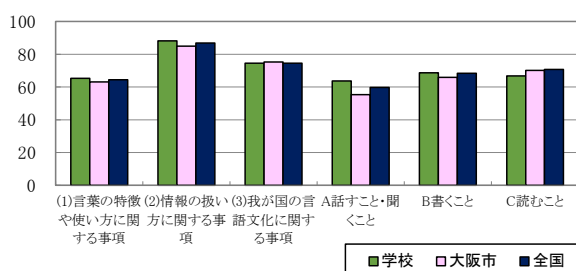
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	65.3	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	88.1	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	74.6	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	63.7	55.3	59.8
B 書くこと	2	68.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	66.7	70.1	70.7

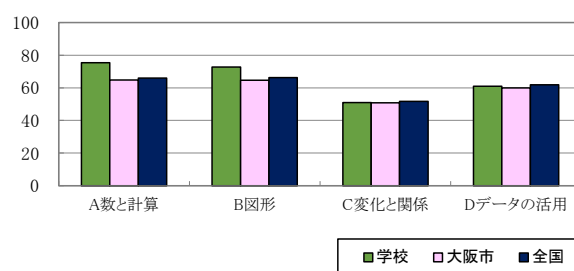
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	75.4	64.8	66.0
B 図形	4	72.8	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	50.9	50.8	51.7
D データの活用	4	60.9	60.0	61.8

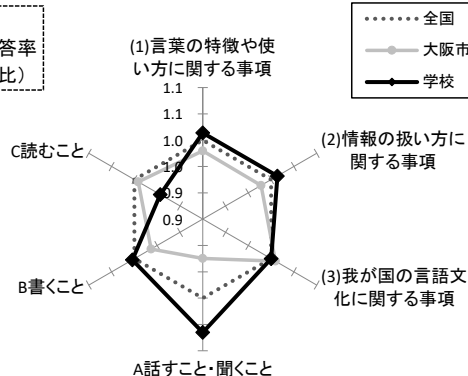
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



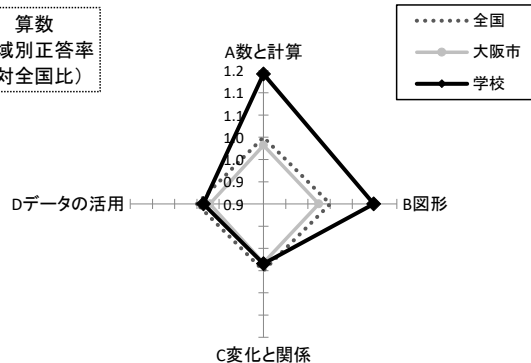
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)



算数  
領域別正答率  
(対全国比)



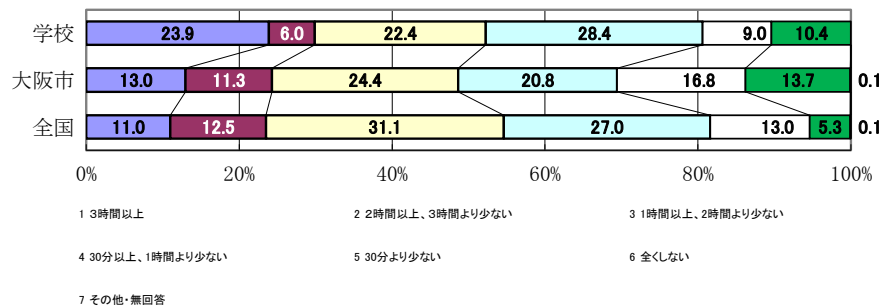
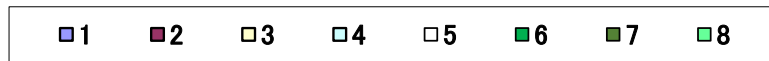
## 児童質問より

質問番号

質問事項

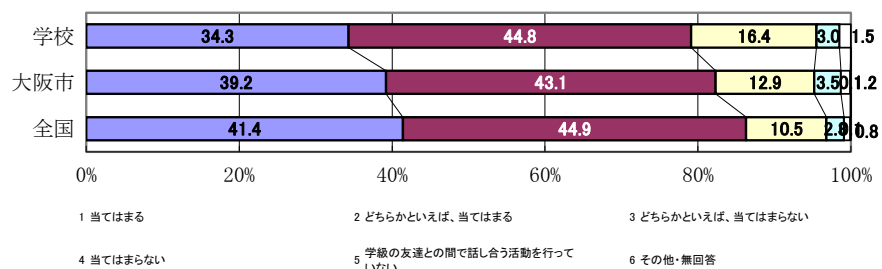
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



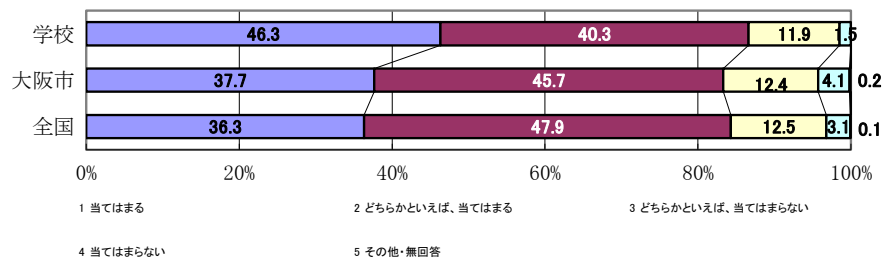
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



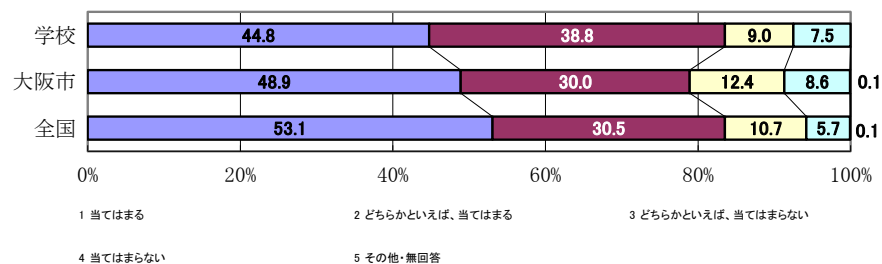
39

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



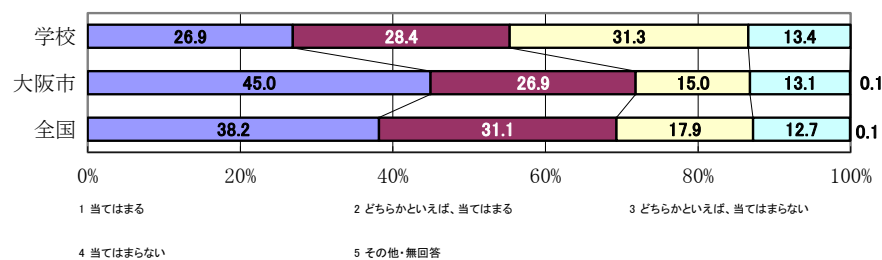
58

理科の勉強は好きですか



61

英語の勉強は好きですか





## 学校質問より

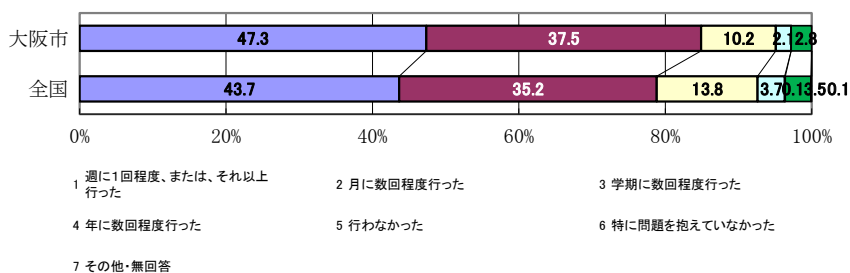
質問番号

質問事項

9

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

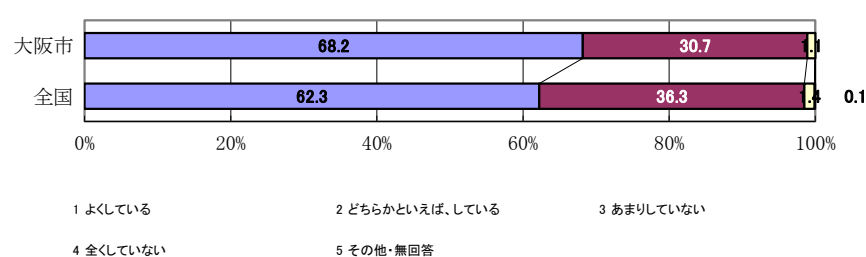
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

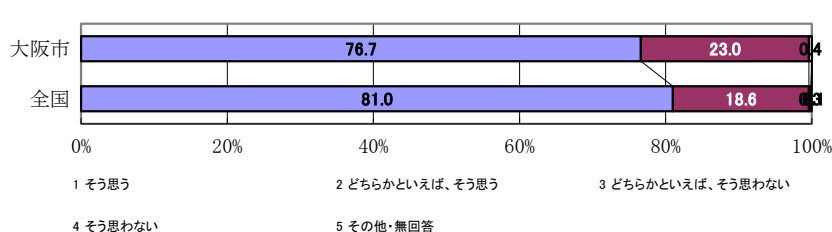
学校 「よくしている」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

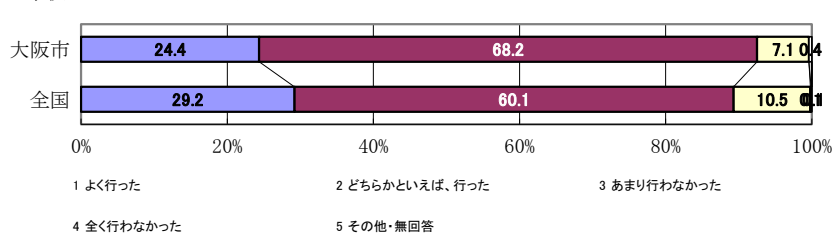
学校 「そう思う」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「よく行った」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「週1回以上」を選択

